

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、福岡市に居住する障がい児・者等の生活実態や意識、福祉施策に対する要望等を把握することを目的としている。

調査結果は、以降の福岡市における障がい福祉計画及び障がい者計画の策定に活用していく。

### 2. 調査の設計と回収（実施）状況

本調査で実施した各調査の設計と回収（実施）状況は下表のとおりである。

#### 【調査設計と回収（実施）状況】

調査種別		調査対象	調査方法	標本数	有効回収数（回収率）	調査実施期間
身体・知的障がい児・者実態調査	身体障がい者調査	市内在住の身体障がい者（18歳以上） 【層化無作為抽出】	郵送調査・訪問調査（視覚障がい、肢体不自由）	1,300人	760人（58.5%）	令和元年9月20日～10月15日
	知的障がい者調査	市内在住の知的障がい者（18歳以上） 【層化無作為抽出】	郵送調査	850人	563人（66.2%）	
	障がい児調査	市内在住の身体・知的障がい児（17歳以下） 【層化無作為抽出】	郵送調査	850人	543人（63.9%）	
	計			3,000人	1,866人（62.2%）	
発達障がい児・者実態調査		発達障がい者関係団体等に所属（利用）、もしくは特別支援学級や通級指導教室に通っている発達障がい児・者とその家族	団体や学校を通じて配布・回収	配布数（※） 900人	258人（28.7%）	令和元年9月20日～10月15日
難病患者実態調査		福岡市内に居住する特定医療費（指定難病）受給者証所持者 【層化無作為抽出】	郵送調査・訪問調査（一部希望者）	1,000人	661人（66.1%）	令和元年9月20日～10月15日
事業者等状況調査		市内の相談支援事業所、居宅介護等事業所、施設事業所、グループホーム事業所、及び市の相談機関【全数】	郵送調査	842事業所	628事業所（74.6%）	令和元年9月20日～10月15日
精神障がい者実態調査	病院	計 福岡都市圏に開設し、精神科を標榜している病院を利用する患者（福岡都市圏：福岡市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、宗像市、糸島市、古賀市、福津市、糟屋郡）	病院を通じて依頼・回収	①48カ所	40カ所（83.3%）	①一次調査 令和元年6月～7月 ②二次調査 令和元年10月～11月
				②1,663人	1,221人（73.4%）	
				1,000人	795人（79.5%）	
	入院					
	通院			663人	426人（64.3%）	
	診療所等	通院	福岡都市圏に開設し、精神科を標榜している診療所等を利用する患者	診療所等を通じて依頼・回収	①109カ所	
②1,337人					275人（20.6%）	

（※）調査を依頼した各団体に所属する方（保護者も含む）を対象として配付した数。同一人物が複数の団体に重複している場合もあり、配付数＝配付した実人数ではない。

## 第1章 調査の概要

「精神障がい者の実態や保健医療福祉サービスに関する調査」については、一次調査（基礎調査）として医療機関を対象に患者数調べを実施している。

一次調査の回収（実施）状況については、下表のとおりである。（二次調査結果は前頁の表を参照）

区分		一次調査			調査実施期間
		対象医療機関数 [か所]	回収数 [か所]	回収率	
合 計		157か所	105か所	66.9%	令和元年6月10日～ 7月31日
福岡都市圏に開設し、精神科を標榜している病院	計	48か所	40か所	83.3%	
	市内	30か所	24か所	80.0%	
	市外	18か所	16か所	88.9%	
福岡市内に開設し、精神科を標榜している診療所・クリニック等	市内	109か所	65か所	59.6%	

### 3. 調査結果利用上の注意①（全調査共通）

- 第3章以降の各種アンケート調査結果については、原則として、各質問の調査数を基数（N）とした百分率（%）で表している。なお、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の選択肢を選択できる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 集計表中の「-」は調査したが該当する数値がないもの（回答者が0人のもの）、実数の「0」と割合の「0.0」は回答者はいたが少数のため四捨五入した結果が単位未満のものを表す。
- 本文または図表中に引用した質問文や選択肢は省略して表記している場合があるため、詳細は巻末「参考資料」中の「調査票」参照。
- クロス集計結果等において、基数（N）となる調査数が概ね30人未満と少数のものについては、参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意を要する。
- 精神障がい者の一次調査については、全ての対象医療機関の回答が得られたものではないため、患者数についてはこの点に留意が必要である。

### 4. 調査結果利用上の注意②（身体障がい者調査、知的障がい者調査のみ）

- 身体障がい者調査と知的障がい者調査については、母集団の人数の少ない年代についても、一定数の調査票を回収するため、抽出時に年代別に補正を行った。ただし、調査結果の集計にあたっては、人数の少ない年代の意見が過度に影響をおよぼさないよう、ウエイトバック（母集団の年代別数と回収数により出現数を割り戻す方法）を行っている。

#### <ウエイト値>

##### 【身体障がい者調査】

回収数			母集団			ウエイト値
対象者属性	N	%	対象者属性	N	%	
20歳代以下	54	7.2	20歳代以下	1,311	2.6	0.36
30歳代	71	9.4	30歳代	1,865	3.7	0.39
40歳代	75	9.9	40歳代	3,273	6.4	0.65
50歳代	78	10.3	50歳代	5,028	9.9	0.95
60～64歳	78	10.3	60～64歳	3,722	7.3	0.71
65～74歳	160	21.2	65～74歳	12,040	23.6	1.11
75歳以上	239	31.7	75歳以上	23,750	46.6	1.47
無回答	5	-	無回答	-	-	1.00

##### 【知的障がい者調査】

回収数			母集団			ウエイト値
対象者属性	N	%	対象者属性	N	%	
20歳代以下	189	34.2	20歳代以下	3,145	36.3	1.06
30歳代	126	22.8	30歳代	1,753	20.2	0.89
40歳代	85	15.4	40歳代	1,624	18.8	1.22
50歳代	56	10.1	50歳代	989	11.4	1.13
60～64歳	46	8.3	60～64歳	379	4.4	0.53
65～74歳	44	8.0	65～74歳	560	6.5	0.81
75歳以上	6	1.1	75歳以上	207	2.4	2.20
無回答	11	-	無回答	-	-	1.00